



奈々子に 吉野弘

赤い林檎りんごの頬ほほをして
眠ねむっている 奈々子

お前のお母さんの頬の赤さは
そっくり

奈々子の頬

ひところのお母さんの

つややかな頬は少し青ざめた

お父さんにもちよっと
酸っぱい思いがふえた

唐突だが

奈々子

お父さんは お前に

多くを期待しないだろう

ひとが

ほかからの期待に應えようとして

どんなに

自分を駄目にしてしまうか

お父さんは

はつきり

知ってしまったから

お父さんが

お前にあげたいものは

健康と

自分を愛する心だ



ひとが

ひとでなくなるのは

自分を愛することをやめるときだ

自分を愛することをやめるとき

ひとは

他人を愛することをやめ

世界を見失ってしまう

自分があるとき

他人があり

世界がある

お父さんにも

お母さんにも

酸っぱい苦勞が増えた

苦勞は

今は

お前にあげられない

お前にあげたいものは

香りのよい健康と

かちとるにむづかし

はぐくむにむづかしい

自分を愛する心だ



どんな時も「自分を愛する心」を大切に！がんばれ！

「好き」と「愛する」は違う。「好き」というのは、気持ちのレベルの話で、時によって変わる。「愛する」というのは、相手のことを本当に大切にするという思い、生き方のレベルの話。これは、とても大切な友だちに対する思いに似ている。大切な友だちが頑張っていて、うまくいったときには、心から嬉しくて「よかったね」って言う。それだけじゃなく、「これからも、この調子でがんばろう！」って応援したくなる。反対に、頑張り切れていないのに平気な顔をしてたら、「しっかりしろよ！」って言うだろう。時には、本気で「がんばれよ」って怒ったり、「次こそがんばろう！」ってというのが友だちだ。「こいつ無理やわ」なんて風にあきらめない。だからもし間違ったことをしていたら本気で怒る。つらいことがあって傷ついたり落ち込んだりしたら、「負けるな、がんばれ」と励ますだろう。「一人じゃないよ」って声をかけたり、人に相談したり、とにかく必死で支えるのが友だち。いい加減なことをしていてもほったらかし、悩んでいるのに知らん顔は、本当の友だちじゃない。時に優しく、時に厳しく、友だちのように自分のことを大切にすること。それが「自分を愛する心」。自分を愛せる人は、きっと友だちのことも、周りの人のことも本当に大切にできる。一年間のしめくくりは、新しい自分の始まり。だから、あなたに『自分を愛する心』を贈ります。

【保護者のみなさま】

今年度も、新型コロナウイルス感染症の防止はじめ教育活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。子どもたちにこれからの社会をたくましく生きていく力を育てるためには、これまで以上に家庭、地域と学校の連携・協力が必要です。教職員一同、来年度も頑張ります。よろしく申し上げます。

3月14日 173人の3年生、先輩たちが中宮中学校を卒業しました。



【校長式辞の一部を紹介します】

今日 中宮中学校を旅立つ 卒業生の皆さん あらためて、ご卒業おめでとうございます。

社会に混乱をもたらし、みなさんの中学校生活を大きく変えた新型コロナウイルス感染症の流行も、やっとピークを越え、感染予防のための行動制限も少しずつ解除されることになりました。

とても長かった、冬の季節が、ようやく終わり、待ちに待った春が来た。そんなふうに心が温かく、そして明るくなる日が来ました。良かったですね。

みなさんの中宮中学校での三年間は、できなくなってしまったことが本当にたくさんありましたが、みんなと活動することが、できなくなるというつらい経験から、みんなと一緒に活動できる時間を、大事にするためには、どうしたらいいのかを真剣に考え、行動するという とても大切なことを学んだ三年間だったと思います。

そんな中学校生活の締めくくりの学年レクレーションでは、多数決で一つの種目にするのではなく、一人残らずみんなが楽しめるようにと、トライジャパニーズの提出率に加え、クイズ、玉入れ、ドッジボールの三つもの種目をやると決め、手間をかけ、時間をかけて独自のルールを決め、準備をして、みんなの、温かな思いが通い合う時間を、作り上げていましたね。

一年生、二年生の体育祭では、感染予防の対策と、学年のみんなが楽しめるという条件のもと オリジナルの学年種目の競技を考え、三年生の体育祭では、学校全体がみんなが楽しめるようにと学年種目ではなく三学年縦割りの団対抗の競技を選びました。

また、あなたたちは色々な行事の時だけでなく、毎日のチャイム着席などにもまじめに取り組み、日々の授業や学級の活動でも友達と一緒に学び合う時間を楽しみ、本当に大切にしてきました。

様々な立場、思いの人がいる学校という場所で、自分とまわりの人たちとを結び付けて考え、文字通り一人残らずみんなが 楽しいと思えるようにと真剣に取り組んできたあなたたちの、行動力。そして その温かな心は これからの中宮中学校をつくっていく後輩たちに、しっかりと受け継がれていくことでしょう。

これからみなさんが生きていく社会は、さらに大きく変化していきます。

A Iの進歩などでとても便利になることが多い一方で、いつ終わるのか先が見通せない ウクライナなどでの戦争や、人権学習で学んだLGBTQや 被差別部落出身者などへの人権侵害、SDGSの総合学習で知った気候変動や環境破壊、食糧問題、貧困など様々な問題は、今も未解決なままで、このままでは自分たちの未来が、危うくなる心配もあります。

みなさんは、これからそうした問題を一つひとつ解決し、自分たちの手で 未来を切り開いていかなくはけません。

誰も正解を知らない問題解決の大切な力ぎは、あなたたちがこの中宮中で学んだこと。

いろいろな立場や考えの人が一緒に生きていく世界で、多数決や、強いもの勝ちの考え方ではなくどうすれば みんなが幸せになれるのかを 自分たちで考えて、行動していくということです。

人は、だれも みんな 幸せになるために生まれてきました。そして、だれもが幸せになりたいと願っています。

だから、あなただけでなく、あなたのまわりの人たちも だれも 一人ぼっちにしないこと。そして、遠く離れた場所に生まれた人たちもみんなが幸せになるために、あなたができることは何か。それを考え、行動する気持ちと自分を愛する心を忘れずに、 本当の幸せを手に入れてください。

あなたたちならきっと 誰もかれもみんなが、生まれてきてよかった、そう思える社会を実現させてくれると 期待しています。

最後に 卒業生のみなさんの 幸せに満ちあふれる前途を願い、私からの式辞とします。

先輩たちの築いた中宮中を受け継ぎ、これからの中宮中学校をつくるのはあなたです！